

# SunTech<sup>®</sup> *AccuWin Pro v3*<sup>™</sup> ABPM SOFTWARE

## 取扱説明書



株式会社 エス・エム・アイ・ジャパン

文書番号

STD-Win-3-Rev.A



# 目 次

アンビュラトリー血圧測定について	5
AccuWin Pro v3について	6
HIPAAについての注意	6
システムのセットアップ	7
AccuWin Pro v3 の構成	7
必要となるハードウェア仕様	7
必要となるソフトウェア	7
ソフトウェアのインストール	7
Oscar2のPCへの接続	8
接続の認識	8
ログイン	9
パスワードの入力	9
パスワードの変更	9
現在のユーザーの変更	9
AccuWin Pro v3 ソフトウェアの使用方法	10
AccuWin Pro v3の基礎	10
ツールバーアイコン	10
選択メニュー	11
アンビュラトリー血圧モニタ(ABPモニタ)のプログラミング	13
アンビュラトリー血圧モニタからのデータの回収	15
アンビュラトリー血圧測定の評価および編集	16
患者ファイルを開く	16
タブおよびコメント	17
アンビュラトリー血圧測定の見方	17
アンビュラトリー血圧測定編集	18
患者日誌のコメント挿入	19
覚醒/睡眠時間帯の変更	20
血圧スレシホールド・リミットの設定	21
小児スレシホールド・リミット設定	22
小児スレシホールドへの適用	22
時間枠の時間帯の定義	23
時間枠の作成	23
時間枠の編集	23
時間枠の削除	24
患者情報および医師情報の編集	24
患者情報の編集	24
医師情報の編集	24

追加薬物治療機能の使用 -----	25
すでに記録されている入力欄への配置及び選択 ----	26
統計の見方 -----	27
時間枠統計の見方 -----	28
時間平均の見方 -----	28
診断用報告書要約の見方 -----	29
二つの測定を比較する -----	30
<b>報告書の作成 -----</b>	<b>32</b>
報告書の設定とカスタマイズ -----	32
報告書の設定またはカスタマイズ -----	32
報告書詳細の設定 -----	33
報告書フォーマットタブ -----	34
報告書詳細タブ -----	35
報告書のプレビュー -----	35
報告書の印刷 -----	36
<b>患者ファイルの管理 -----</b>	<b>37</b>
開く -----	37
コピー -----	37
出力 -----	38
メール -----	38
削除 -----	39
患者データファイルの変換 -----	39
<b>AccuWin Pro v3のカスタマイズおよび設定 -----</b>	<b>40</b>
“ハードウェア設定” -----	41
“データ”設定 -----	42
“配色”設定 -----	43
“日誌コメント”設定 -----	44
“メール”設定 -----	45
“報告書”設定 -----	46
“出力”設定 -----	47
<b>AccuWin Pro v3報告書シンボルの概要 -----</b>	<b>48</b>
報告書シンボル -----	48
イベントコードの概要 -----	49
イベントコードの定義 -----	49
<b>管理ツール -----</b>	<b>50</b>
ログインオプションの維持 -----	50
ログインアクセスの方法 -----	50
自動ログオフの方法 -----	51
ユーザー・アカウントの追加 -----	52
使用者レベルの変更 -----	52
ユーザー・アカウントの削除 -----	53
ユーザー・パスワードのリセット -----	53

## アンブラトリー血圧測定について

アンブラトリー血圧モニタリングは、血圧の変化性、真の血圧値の評価、血圧の昼夜の変化、および早朝の血圧上昇を調べる事による高血圧の診断および管理に関して臨床医を補佐する複数の血圧測定を収集する為に認められた臨床ツールです。<sup>1</sup> 医療施設または自宅での血圧測定は、24時間を通しての血圧測定値を代表していません。いくつかの研究は、アンブラトリー血圧モニタリングは、医療施設または自宅での血圧測定と比較したとき、調べたい臓器の損傷、病的現象、あるいは心臓血管的リスクを予測することに優れていることを示しています。<sup>2, 3, 4</sup>

アンブラトリー血圧測定から得られたデータは、以下のような種々の変化性をもつ高血圧症状態の管理の為に、非常に正確で、また有効となります。

- ・ 白衣高血圧
- ・ 抵抗性高血圧
- ・ 仮面高血圧
- ・ 小児の高血圧
- ・ 血圧降下剤治療の24時間の有効性
- ・ 夜間高血圧
- ・ 一時的な高血圧／不安障害
- ・ 低血圧症
- ・ 高血圧低減の為にダイエツトおよび日々の行動変化
- ・ 妊娠中の高血圧

- 
1. Pickering, T.G., Shimbo, D., & Haas, D. (2006). Ambulatory Blood-Pressure Monitoring. *New England Journal of Medicine*, 354(22),2368 – 2374.
  2. Marchiando, R.J. & Elston, M.P. (2003). Automated Ambulatory Blood Pressure Monitoring: Clinical Utility in the Family Practice Setting. *American Family Physician*, 67(11), 2343 – 2350.
  3. White, W.B. (1999). Ambulatory blood pressure as a predictor of target organ disease and outcomes in the hypertensive patient. *Blood Pressure Monitoring*, 4 (3), 181 – 184.

## AccuWin Pro v3について

AccuWin Pro v3は、ABPM(アンビラトリー血圧モニタリング)測定の設定、解析、診断および報告に最大の柔軟性をもち、簡単で、パワフルなソフトです。AccuWin Pro v3は、白衣効果の解析、高度なオンライン・ヘルプシステム、複数の報告書の設定、および統合されたe-mail可能性を持つABP(アンビュラトリー血圧)データに関して迅速に自動化された解析サマリーを提供します。

パワフルなプログラムの使いやすいメニュー操作設計は、ABPデータを種々な方法で解析できます。診断用の報告書要約の構成は、正常なABPレベルとの評価に役立ちます。単一ページ報告書は、一枚で必要とされる測定結果および患者情報を提供します。時間毎の平均および測定比較は、患者への処方をするのを助ける血圧トレンドに関し、より優れた表示となります。脈圧および血圧値の測定結果を含む統計の計算は、患者の活動レベルおよびその結果を推測させます。

AccuWin Pro v3により、ユーザーは、出荷時設定フォーマット又は自分自身のフォーマットのどちらによっても、報告書をデザインすることができます。自分自身の報告書フォーマットを作成する場合には、以下の情報のあらゆる組合せを構成に含むことができます。

- 診断解析、グラフ、および統計的結果を含むABP要約
- 患者情報の詳細
- 完全な統計の詳細
- 収集されたABP読み値の詳細な記録
- 追加の診断解析を持つ収集されたABP測定値の時間毎の平均
- 2つの測定比較
- ABPデータおよび統計のヒストグラム
- プログラムしたABPモニタリング構成の評価

## HIPAAについての注意

1996年制定のHIPAA法(Health Insurance Portability and Accountability Act: 医療保険の相互運用性と説明責任に関する法律)により施行された規制は、種々なる内容をカバーしていますが、プライバシーおよびセキュリティの2つが、AccuWin Pro v3のようなアプリケーションソフトウェアを使用する医療従事者用に、遵守事項として発行されています。

パスワードで限定されたユーザーのアクセスおよびAccuWin Pro v3の暗号化された患者情報能力は、HIPAA遵守環境を維持する医療行為者への助けとなります。HIPAA遵守は究極的に医療行為者の責任なので、印刷の報告および暗号化されていない患者情報を含むデータの外部出力には、適切に取扱うように注意してください。

## システムのセットアップ

### AccuWin Pro v3 の構成

AccuWin Pro v3 は、次の構成となります。

- AccuWin Pro v3 取扱説明書
- AccuWin Pro v3 CD
- Oscar 2 USB (またはシリアル) ケーブル

### 必要となるハードウェア仕様

- ペンティアム又は相当品のPC互換CDドライブ付きコンピュータ
- SVGA又は相当品ディスプレイアダプターとモニタ(1024×768 分解能推奨)
- 1個のUSB又はシリアルポート装備
- 32MB RAMおよび最低20MB HDD推奨

### 必要となるソフトウェア

- マイクロソフトWindows 98又はそれ以降品、Windows Meを除く
- マイクロソフトInternet Explorer 3 又はそれ以降品、HTML ヘルプ付き

### ソフトウェアのインストール

**注:** もしAccuWin Pro v3が既にインストールされているならば、以前に収集した患者ファイルをバックアップ保存されることをお勧めします。

ユーザーのCDドライブにCDを挿入してください。もしCDの自動起動が有効となっていないならば、PC画面の指示に従ってください。

もし自動起動になっていなければ、下記のステップに従い操作してください。

1. Windows”スタート“ボタンを押し、“プログラム”から“アクセサリ”の“エクスプローラ”を開きます。
2. CD又はDVDドライブをクリックします。
3. AUTORUN.EXEファイルをダブル・クリックします。
4. スクリーン上の指示に従ってください。

**注:** AccuWin Pro v3をインストールする前に、USBケーブルをPCに接続しないで下さい。

## Oscar2のPCへの接続

Oscar2との通信の最初のステップは、PCへの接続です。RS232ケーブルを使用している場合は、電氣的ショックを避けるためPCの電源がオフとなっていることを確認してください。

1. PCインターフェースケーブルを、Oscar2モニタの底面の接続部に接続して下さい。(図1)
2. PCインターフェースケーブルの他端をPCのUSBポートに接続します。(図2)



図1. Oscar2の底面 図2. PCの裏面

3. 最初にUSBケーブルをPCへ接続したときに、ドライバーをインストールするメッセージが現れます。Oscar2のプログラミングは、ドライバーがインストールされるまで待ってください。
4. もし、シリアルポート用PCインターフェースケーブルを使用する場合は、PCの9ピンシリアルポートに接続します。

**注：** PCがオフの時、ケーブルを接続することができます。

## 接続の認識

AccuWin Pro v3のインストールにより、USBケーブルのドライバーがロードされます。一度ケーブルがPCへ接続されると、AccuWin Pro v3は、ケーブルを認識し、そしてそれをOscar2モニタへの接続として自動認識します。(図3)

もし、USBポートではなくシリアルポートを使用する場合は、ポートをAccuWin Pro v3の中で正確に設定する必要があります。

1. “モニター(Y)”メニューから、“ポート設定(Y)”を選択してください。設定ウィンドウの“ハードウェア設定”タブが表示されます。
2. ”シリアルポート”欄でPCケーブルが接続されているポートを選択してください。

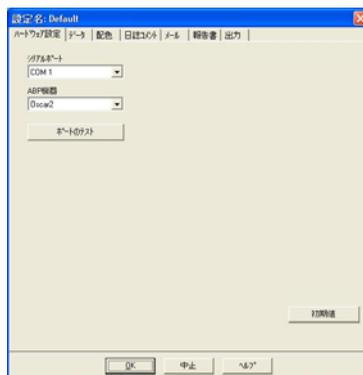


図.3 ハードウェア設定

3. ”ABP機器”で“Oscar2”を選択してください。
4. 設定が正しいことを確認する為に、“ポートのテスト”をクリックしてください。もし通信が成功した場合には確認メッセージが直ちに表示されます。
5. “OK”を選択してください。

## ログイン

全てのユーザーがAccuWin Pro v3 の中のいずれかの情報にアクセスする前に、システム管理者は、機密扱いの患者情報を保護する為のログイン・プロセスを有効にする必要があります。この設定を行なう為には、設定(W)から管理ツール(Y)を選択してください。

## パスワードの入力

もしAccuWin Pro v3 管理者がパスワード設定すれば、使用者がAccuWin Pro v3 を開くか、または現在のユーザー名を変更するとき、有効な使用者名およびパスワードを入力しなければなりません。

**注：** 管理者は、AccuWin Pro v3 を設定した未使用時間経過後に、自動的にログオフとなるように設定することができます。もしログオフとなった場合、再度ログオンしなければなりません。

ログイン方法：

1. 有効な使用者名を入力します。
2. 有効なパスワードを入力します。
3. “OK”をクリックします。

## パスワードの変更

もし使用者が現在のパスワードを分かっているならば、パスワードの変更ができます。もしログインが初回であれば、使用者に割り当てられた初期設定のパスワードを変更しなければなりません。使用者のパスワードを変更する前に、自分の名前でもログインしなければなりません。

1. メニューの“設定(W)”から、“パスワードの変更(X)”を選択します。
2. 使用者の現在のパスワードを入力します。
3. 使用者の新しいパスワードを入力します。
4. 確認の為、再度新しいパスワードを入力します。
5. “OK”をクリックします。

**注：** もしパスワードを忘れた場合は、管理者にパスワードのリセットを依頼しなければなりません。現在のパスワードを知っている場合は、自分自身のパスワードを変更することができます。

## 現在のユーザーの変更

1. メニューの“設定(W)”より、“使用者変更(Y)”を選択します。
2. 有効な使用者名を入力します。
3. 有効なパスワードを入力します。
4. “OK”をクリックします。

## AccuWin Pro v3 ソフトウェアの使用方法

AccuWin Pro v3 は、アンビュラトリー血圧モニタ用プログラムにユーザーが必要とする柔軟性を与え、重要なテストデータの収集、回収を単純化しています。

### AccuWin Pro v3の基礎

- ・ ツールバーは、頻繁に使用する機能に簡単にアクセスできます。
- ・ メニューバーは、ソフトウェアのすべての機能にアクセスできます。

### ツールバーアイコン

- ・ **プログラム:** ABP測定のためのモニタ本体をプログラムします。
- ・ **データ回収:** モニタ本体から測定データを回収します。
- ・ **血圧データ:** ABP測定を開きます。
- ・ **印刷プレビュー:** 報告書のプレビューを表示します。
- ・ **印刷:** 報告書の印刷を行います。
- ・ **ページ印刷:** 表示データの報告書ページを印刷します。
- ・ **ヘルプ:** オンラインヘルプを表示します。
- ・ **終了:** AccuWin Pro v3を終了します。



図4. 起動画面

## 選択メニュー

AccuWin Pro v3ソフトウェアは、下記の選択メニューを持っています。

### ファイル(Z):

- ・ **開く(T):** 選択可能な患者データファイルのリストを開きます。
- ・ **閉じる(U):** 表示している患者データファイルを閉じます。
- ・ **コピー(V):** 患者データファイルのリストを表示します。印刷したいファイルを選択します。
- ・ **出力(W):** AccuWin Pro v3 のデータファイルをASCIIまたはGDTフォーマットで外部出力します。
- ・ **メール(X):** 新しいe-mailメッセージを作成し、また選択した患者データファイルを添付し、そしてSMTPを使用して送り先へメールを送ります。
- ・ **削除(Y):** 1個か、又はそれ以上の患者データファイルを削除します。各患者ファイルは患者に関する全ての血圧測定を含んでいます。
- ・ **終了(Z):** AccuWin Pro v3 を終了します。

**注:** AccuWin Pro v3には、下線の付いた文字に対応するいくつかのショートカット・キーがあります。その機能は、“Alt”キーと下線文字を押すことによって実行します。

### モニター(Y):

- ・ **測定のプログラム(W):**  
患者測定のパラメータを設定し、測定の準備をします。
- ・ **データの回収(X):**  
Oscar2で収集した患者測定データをPCに回収します。
- ・ **ポート設定(Y):**  
Oscar2とPCとの通信の為のポート設定します。また、通信状態を確認する事ができます。
- ・ **モニター設定の表示(Z):**  
表示している測定のOscar2の設定を表示する事ができます。

### 報告書(X):

- ・ **設定(W):** 報告書のフォーマットを選択し、また報告書設定をカスタマイズします。
- ・ **プレビュー(X):** 現在の設定フォーマットの報告書を印刷フォームで表示します。
- ・ **印刷(Y):** 現在の設定されたフォーマットに関連した報告書を印刷します。
- ・ **ページ印刷(Z):** AccuWin Pro v3 メインウインドウで選択されているタブの報告書のページを印刷します。

## 設定(W):

- ・ **選択(V):** 血圧データの収集および処理の方法を設定します。使用者により、ハードウェアとデータ設定の変更、およびグラフとチャート色のカスタマイズ、医師が患者についてのコメント記録を選択する際のコメントリストのカスタマイズ、およびデータのオプションである外部出力の設定を行えます。もし使用者が、大量の臨床データを管理しているか、もしくは複数の患者の臨床試験を行っているサービス機関を管理しているならば、いくつかの設定プロファイルを作成する事ができます。例えば、各診療の内科医師毎、或いは各サービス機関の顧客ごとに作成することができます。
- ・ **管理ツール(W):**  
新しい使用者アカウントの作成、アクセスレベル(管理者アクセスまたは使用者アクセス)の変更、使用者パスワードリセット、ログイン許可、および特定時間経過後の自動ログアウトを可能とします。
- ・ **パスワードの変更(X):**  
(AuuWin Pro V3の管理者によりログインした時のみメニューに出現する)使用者自身のパスワードを変更できます。これを行うためには、現在の自身のパスワードを知っている必要があります。
- ・ **使用者変更(Y):**  
(AuuWin Pro V3の管理者によりログインした時のみメニューに出現する)現在の使用者を変更します。
- ・ **診断(Z):** サンテック社の技術サポートからの診断情報リストです。

## ヘルプ(V):

- ・ **ヘルプトピックス(X):**  
オンラインヘルプを表示します。
- ・ **サンテック ウェブ サイト(Y):**  
サンテック社のウェブサイトを開始します。
- ・ **説明(Z):** AccuWin Pro v3のバージョンを表示し、PCの使用可能なメモリーおよびプラットフォームを表示します。

## アンビュラトリー血圧モニタ(ABPモニタ)のプログラミング

ABPモニタを準備する為には、画面上の入力フォームにプログラムすべき患者のパラメータを入力します。

モニタをプログラムする:

- メニューの”モニター(Y)”から、
1. ”測定 of プログラム(W)”を選択します。或いは、ツールバー上の”プログラム”アイコンをクリックします。
  2. 入力フォームに設定を入力します。(図5)。
  3. ”OK”をクリックします。転送表示バーがデータのモニタへの移行中に進行状態を表示し、プログラミングが完了したときに消えます。

図5. モニタ用プログラム

テスト用パラメータは、以下のように調整されます。

**患者名および 患者ID:**

報告書および参照データ用。

**5分以内に測定開始:**

チェック入力は、プログラミングの後、測定が自動的に開始されることを示します。無チェックは、スタート/ストップボタンにより手動で測定を開始することを示します。

**時間ゾーンの違い:**

モニタの時刻(患者測定場所の標準時)を、ユーザー(PC設置場所の標準時)との時間差により調整します。

**最大圧力:**

120から280mmHgの範囲。予測される収縮期血圧値の30mmHg高い圧力を設定することが推奨されます。

**注:** ABPモニタは、各測定で最大圧力まで加圧していません:  
前回測定の収縮圧から30mmHg上まで加圧します。

**キーパット:** “可能”は、患者が測定を開始することを可能にします。

**表示:** “可能”は、患者が測定後すぐに結果を見ることを可能にします。

**注:** 測定の最初の30分間は、キーパット操作および表示が常に可能です。

**間隔:** プログラムされる測定間のインターバル時間を設定します。“固定”が選択された場合は、インターバルが正確な時間となります。“標準”が選択された場合は、選択されたインターバル時間の5分前後となります。

**注:** 5分と10分間隔については、常に“固定”設定となります。

**時間:** 3項目まで設定可能です。

**間隔:** 測定間隔は、5, 10, 15, 20, 30, 45, 60, 90, 120分です。

## アンビュラトリー血圧モニタからのデータの回収

ABPモニタをハードウェア(ユーザーのPC等)に接続してデータを回収する前に、ABPモニタが患者から外されていることを確認してください。

### データの回収

1. ABPモニタをPCへ接続します。
2. メニューの“モニター(Y)”から“データの回収(X)”を選択するか、ツールバー上の“データ回収”アイコンをクリックします。通信が自動的に開始します。画面上のダイアログボックスがデータ送信の進行を示します。
3. 完了後、ダイアログボックスが新しい患者であるかを聞いてきます。もし“はい”をクリックすると、既にハードディスクに記録されている患者ファイルのリストを表示します。(図6)回収データを保存する為の患者ファイルを選択します。

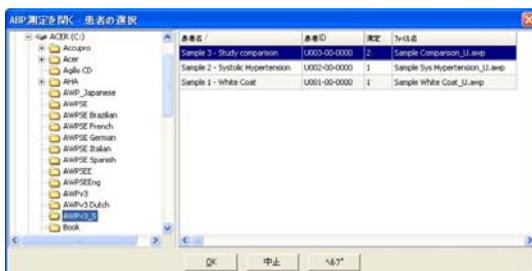


図6. データ回収、患者選択



図7. データ回収、患者情報

4. もし“はい”を選択したら、患者情報ダイアログボックスが開きます。(図7)各欄に入力します。もしファイル名(“患者名”および“患者ID”欄)にカーソルが入力可能状態である場合は、ファイル名の入力を求められます。

**注:** もしファイル名に“.”を使用した場合、最後の“.”の後の文字列は“awp.”に変換されます。例えば、“山田太郎.2008”は“山田太郎.awp.”と保存されます。意図するようなファイル名で保存する為には、“.”をファイル名の最後に付加します。例えば、“山田太郎.2008.”の場合、“山田太郎.2008.awp.”として保存されます。

5. データを保存する為に“OK”ボタンをクリックします。これで患者の血圧データがPCに保存されます。“ABPデータ”タブは、回収したデータを表示します。患者名、ID番号、測定データ、およびファイル名とその場所が画面下部のステータス・ラインに表示されます。

## アンビュラトリー血圧測定の評価および編集

### 患者ファイルを開く

1. AccuWin Pro v3 は、データが回収された後、自動的に患者ファイルを開きます。
2. メニューの“ファイル(Z)”から“開く(T)”を選択します。或いは、ツールバーより“血圧データ”ボタンをクリックします。

**注:** もし開いた患者ファイルが現在のAccuWin Pro v3のバージョンに変換されない場合、前に保存された患者ファイルを新しい安全性を高めた暗号化されたファイルに変換するようにメッセージが表示されます。

3. “APB測定を開く-患者の選択”ダイアログボックスが現れ、患者ファイルを開く為の選択が可能となります。(ファイル名の次のアスタリスクは、患者ファイルが変換されていないことを示します。)回収したい血圧データの患者を、患者名をクリックすることで選択します。
4. “OK”を選択します。
5. もし患者が2個以上のABP測定を持っていたならば、第2の日付を選択する“データ選択”ダイアログボックスが現れます。日付を選択し、“OK”をクリックします。患者データが表示域に現れます。ここで血圧測定の編集または報告書の印刷ができます。

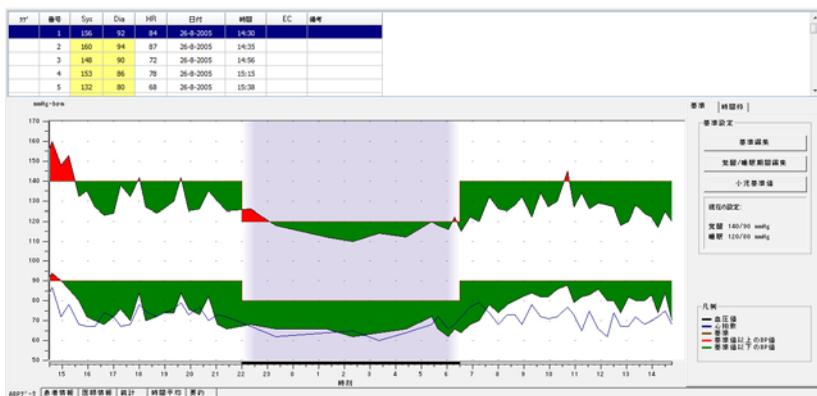


図8. ABPデータグラフ、スレシホールド

画面に表示されるデータを含む患者ファイルの各情報は、画面下部のタブによって呼び出されます。タブに関する次のデータを編集することができます: ABPデータ、患者情報、医師情報および要約等。ステータスバーは、患者名、患者ID、測定データおよび表示ファイル名を識別しています。

## タブおよびコメント

- **ABPデータ:** モニタからのABP測定データ
- **患者情報:** 患者名、ID、問診情報、および身体情報
- **医師情報:** 患者病歴、臨床情報、および診断
- **統計:** 編集されたABP測定の統計的解析
- **時間枠統計:** ユーザーが特定した時間ウィンドウの統計的分析
- **時間平均:** 測定比較を含め編集されたABP測定の解析
- **要約:** 診断用要約の設定および現在の測定結果

## アンビラトリー血圧測定の見方

“ABPデータ”タブにある、画面上部の表はテスト期間中に収集した各血圧測定値を表示します。(図8) 表は、色付けされた収縮期および拡張期血圧値と、脈拍数およびテストに関連したイベント、品質あるいはテストコードを示します。

表の下は、血圧データのグラフ描写です。垂直軸の目盛は、mmHgで血圧値を、そして回/分(bpm)で心拍数を表しています。横軸は、時刻による時間軸を表わしています。グラフ上のどこでもクリックすると、表上で一致する測定値列を強調します。

グラフの右側に2つのタブがあります。: “スレシホールド”と“時間枠”。“スレシホールド”タブはABPデータのグラフの凡例を表示します。そしてグラフ上でスレシホールド設定を変更することができます。“時間枠”タブは、統計解析を行う特定の時間ウィンドウを決めることができます。

グラフの陰影部は測定の期間を示します。初期設定の配色(報告書(W)>設定(W)>配色タブを使用して変更できます)は下記となります。

- ライトブルー陰影: 白衣期間を示します。測定の最初の1時間(もし要約タブで白衣分析可能としている場合)
- ライトグレイ陰影: 測定中の睡眠期間を示します。

グラフの一部分の拡大方法:

1. マウス・アイコンが両方向矢印に変わるまで、グラフ(図8)の水平軸または垂直軸のどちらかの軸上に置きます。
2. 垂直(水平)調整の為には、両方向矢印を拡大は下方に(右に)ドラッグし、縮小は上方に(左に)ドラッグします。もし拡大が大きくなりグラフの一部が隠れるようになると、グラフ下部または右側の縁にスクロールバーが現れ、それにより画面表示領域を調整できます。

データ表の大きさを調整する方法:

1. マウスポインタの位置を表の底部境界線の上に置きます。
2. ポインタが両方向矢印に変化したとき、上方向または下方向へドラッグすると、表およびグラフ表示のサイズが変更されます。

## アンビュトリー血圧測定の編集

ABPデータ表示で、ABP測定の精度およびトレンドを編集することができます。AccuWin Pro v3によりデータが回収されたとき、ABP測定中のすべての予測コードを持つ読み値が、表の最初の列にアウトリスク(\*)または感嘆符(!)の標識(タグ)が付けられます。タグ付けされた記録は、統計および時間平均画面に表示されるABP測定分析から省略されます、しかしそれらの読み値は、報告書に印刷されます。(血圧データの省略ページ参照)

アスタリスク(\*)付きのモニタ標識(タグ)付きデータは、データの有効性の判断基準を基にしています。感嘆符(!)は、永久のタグで、ABPモニタにより正確な読み値と判断できないときに使用されます。このタグは変更できず、関連データはデータ解析に使用されません。アスタリスク(\*)は、編集可能なタグです。データのタグが付けられるか、付けられないかは、患者の病歴、患者の日誌情報、或いは他の要素を含む多くの要素を基にしています。

測定にアスタリスク(\*)を外すか、入れるかには二つの方法があります。

表の使用:

1. タグを付ける(省略する)か、又は外す(含める)読み値を選択し、強調します。
2. 表の第1列の“タグ”欄のセルを選択します。

グラフから:

1. タグを付ける(省略する)か、又は外す(含める)読み値を、カーソルを使用してグラフ上から選択します。
2. マウスを右クリックして、メニューを呼び出します。
3. メニューから“トグルタグ(X)”を選択します。

**注:** 全ての編集したABP測定データは、即座に保存されます。

## 患者日誌のコメント挿入

血圧測定中の患者の活動の経過を、表の右端のコメント欄を使用して保存します。患者活動は、血圧に影響する多くの要素のひとつですが、測定の特レンドから血圧読み値を理解するときに有効です。

患者のこの仕事を簡単にする為、患者日誌のチェックリストが、ABPMシステムに含まれています。コメント欄のセルから操作することにより、同じ記入が利用できます。



図9. コメント

タグから患者コメントに入る(図9):

1. コメントを加えたい読み値を強調にし、コメント欄の対応するセルを選択します。
2. プルダウン・メニューを呼び出す為、マウスの左ボタンを押して下さい。
3. コメントを入力するか、またはリストのコメントを選択します。
4. “OK”をクリックします。

グラフからコメントを入れる:

1. マウスポインタを使用して、ABPデータグラフの読み値を選択します。
2. マウスの右ボタンを押して、テキストメニューを出します。
3. メニューから“コメント作成(Y)”を選択します。
4. 入力するかまたはリストから選択することにより、コメントを加え、“OK”を選択します。

**注:** ABP測定データへのすべての編集は、直ちに保存されます。

“設定(W)”ウィンドウの”日誌コメント”へ入ることにより、コメントリストに出現する文字列を加えたり、削除したりできます。(日誌コメントの設定方法に関しては、”AccuWin Pro v3 をカスタマイズおよび設定する”を参照してください。)

## 覚醒／睡眠時間帯の変更

血圧スレシホールドに従い、睡眠時間は、血圧負荷および睡眠比率の計算に使用されません。時間は、測定用モニタを準備するときの、パラメータ設定により決められています。

1. ABPデータグラフを表示する(図8)。”スレシホールド”タブを選択する。
2. 患者の睡眠と覚醒時間を変更する為に、“覚醒／睡眠時間帯編集”をクリックする。
3. “時間”タブ(図10)の中で、患者の睡眠と覚醒時間を、二つのスライドバーのどちらか適切なスライドバーを左右に動かし直近の30分へ再設定する。

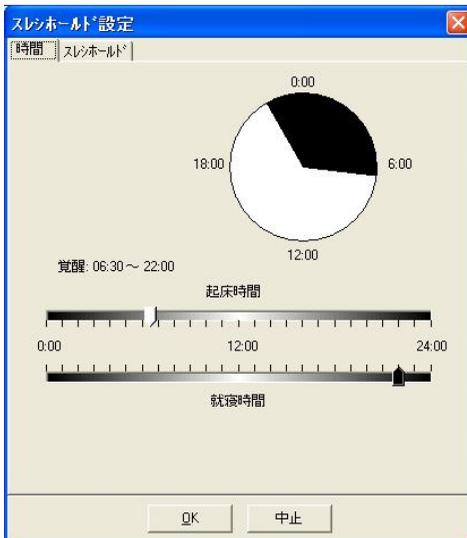


図10. 覚醒および睡眠時間帯

新しい時間帯が時計文字板に、睡眠中時間帯として黒色で、また覚醒中時間帯は白色で表示されます。時計は、24時間単位で表示されます。例えば12:00は昼、18:00は6PM、および00:00(または24:00)は深夜となります。

## 血圧スレシホールド・リミットの設定

使用者は、血圧負荷を計算する為に使用される収縮期および拡張期スレシホールドを選択することができます。スレシホールド設定にはグローバルとカスタムの2種類があります。

**グローバル・スレシホールド**は、全ての患者ファイルに適用されます。カスタム設定は、特別な患者の全ての測定に適用されます。AccuWin Pro v3の初期設定は、覚醒期間は140/90で、睡眠期間は120/80となります。もし必要なら、グローバル・スレシホールドのカスタマイズは可能で、また標準として発行されているものから選択も可能です。：“JNC7/AHA”または“ESH.JNC7”<sup>1</sup>、あるいは標準として発行されている“Joint National Committee on the Prevention, Detection, Evaluation, and Treatment of High Blood Pressure”は覚醒時間帯は135/85で、睡眠時間帯は120/75となっています。米国心臓病協会(American Heart Association (AHA))<sup>2</sup>は、24時間の正常血圧値は130/80として発行しています。ESH<sup>3</sup>またはヨーロッパ高血圧協会(European Society of Hypertension)のガイドラインは、覚醒時間帯が135/85で睡眠時間帯は120/70です。

代わりに、特別な患者に適用するカスタム・スレシホールドを定義することができます。このスレシホールドは、この患者だけの全ての測定に適用されます。

1. ABPデータグラフを表示します(図8)。“スレシホールド”タブを選択します。
2. スレシホールド設定を変更する為に“スレシホールド編集”をクリックします。
3. “ユーザ設定スレシホールド”または“国際基準スレシホールド”をクリックし、使用者の考えに従いスライダーを動かして範囲を変更します。
4. 変更を適用する為に“OK”をクリックし

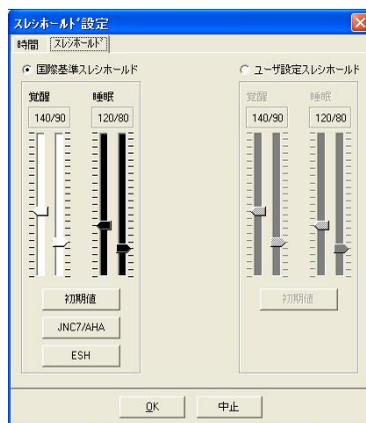


図11. 血圧スレシホールド

- 1 JNC 7: National High Blood Pressure Education Program. “The Seventh Report of the Joint National Committee on Prevention, Detection, Evaluation, and Treatment of High Blood Pressure”. *NIH Publication No. 03-5233* May 2003.
- 2 AHA: Pickering, TG, et al. (2005). “AHA Scientific Statement: Recommendations for blood pressure measurement in humans and experimental animals”. *Hypertension*, 45, 142–161.
- 3 ESH: O’Brien, et al. (2003). “European Society of Hypertension recommendations for conventional, ambulatory, and home blood pressure measurement”. *Journal of Hypertension*, 21, 821–848.

## 小児スレシホールド・リミット設定

米国心臓病協会は、高血圧と診断される小児患者の発生頻度が増加している中で、小児のABPモニタリングを支持する声明を最近発行しました。<sup>1</sup> 成人のものと異なる高血圧ガイドライン:高血圧は、一般的に性別と身長について第95分位数以上の血圧測定値として定義されます。特定のABPスレシホールドは、AccuWin Pro v3でプログラムされません。<sup>2</sup>



図12. 小児スレシホールド計算

## 小児スレシホールドへの適用

1. ABPデータグラフを表示します(図8)。”スレシホールド”タブを選択します。
2. スレシホールド設定を変更する為に“小児スレシホールド”をクリックします。
3. 患者の性別および身長を入力します。身長は、センチメートル、インチまたはフィート/インチのいずれでも可能です。
4. “適用”をクリックします。小児スレシホールドは、特別な患者ファイルとしてのユーザ設定スレシホールドとして適用されます。

---

1 Pediatric Threshold Calculator: Urbina, E. et al. (2008). “Ambulatory Blood Pressure Monitoring in Children and Adolescents: Recommendations for Standard Assessment, A Scientific Statement from the American Heart Association, Atherosclerosis, Hypertension, and Obesity in Youth Committee of the Council on Cardiovascular Disease in the Young and the Council for High Blood Pressure Research”. *Hypertension*, 52, 433-451.

2 Pediatric Threshold Calculator: Soergel, M. et al. (1997). “Oscillometric twenty-four-hour ambulatory blood pressure values in health children and adolescents: A multicenter trial including 1141 subjects”. *Journal of Pediatrics*, 130(2), 178-184.

## 時間枠の時間帯の定義

使用者は、統計解析を行う為の12までの特別なウィンドウ(時間枠)を定義することができます。時間枠に対応する統計解析は、統計タブの右側の時間枠統計に出てきます。

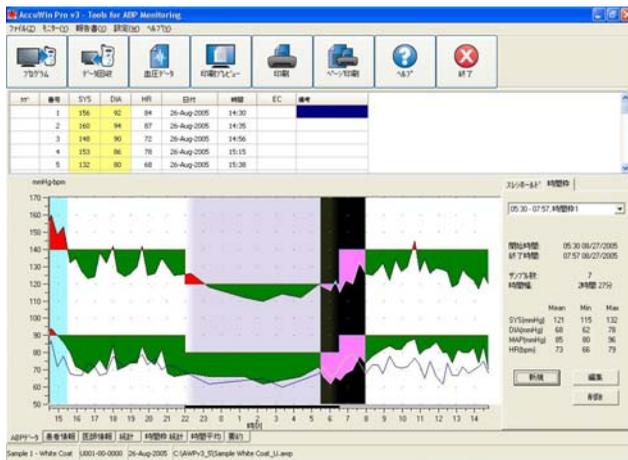


図13. ABPデータグラフ、時間枠タブ

### 時間枠の作成

1. ABPデータを表示します。“時間枠”タブを選択します。
2. “新規”ボタンを選択します。時間枠の開始時間を決める為にグラフをクリックします。終了時間までマウスをドラッグします。マウスボタンを離し、時間枠の終了時間を決めます。時間枠は、ABPデータグラフ上で強調されます。
3. 一旦、時間枠が作られると、“時間枠の設定”ボックス(図14)が現れ、時間枠に名前を付けることができ、開始時間と終了時間を編集できます。



図14. 時間枠の設定

### 時間枠の編集

1. ABPデータを表示します。“時間枠”タブ(図13)を選択します。
2. ドロップダウン・メニューより時間枠名を選択します。時間枠の時間帯は、ABPデータ・グラフに強調されます。
3. “編集”を選択します。時間枠ボックス(図14)が現れます。
4. 名前または開始および終了時間を編集します。時間枠を編集する為に”保存”を選択します。

## 時間枠の削除

1. ABPデータを表示します。”時間枠”タブ(図13)を選択します。
2. ドロップダウン・メニューより時間枠名を選択します。時間枠の時間帯は、ABPデータグラフに強調されます。
3. “削除”を選択します。時間スライスを削除する為に”はい”をクリックします。

## 患者情報および医師情報の編集

患者情報と医師情報は、データをモニタから回収しているときに、入力されます(「ABPモニタからのデータの回収」を参照)。ユーザーは、患者ファイルが保存される時も同様に本データの編集又は追加ができます。

### 患者情報の編集

1. 画面下部の”患者情報”タブを選択します。
2. “編集”ボタンをクリックします。
3. あらゆる患者情報をアップデートし、“OK”を選択してください。

### 医師情報の編集

1. 画面下部の”医師情報”タブを選択します。
2. “編集”ボタンをクリックします。
3. あらゆる情報をアップデートし、“OK”を選択してください。

ユーザーは、患者履歴、検査理由、現在の治療および医師の説明を入力および編集できます。テキスト欄へのタイプ入力の変わりに、ユーザーは薬品、投薬量、および頻度をAccuWin Pro v3に内蔵されている辞書に加えることができます。

### 追加薬物治療機能の使用(図15)

1. ドロップダウン・タイトルの“治療”欄へ薬物治療を入力します。
2. 一度、薬物治療が入力されれば、キーボード上の”入力”または”タブ”を押すか、或いはマウスを使用して”投薬”欄にカーソルを合わせます。
3. 投薬量および頻度を、同じ方法で入力します。事前準備された”頻度”欄への入力項目は以下となります。

略語	意味
ac	Before meals
bid	Twice daily
pc	After meals
prn	As needed
qam	Every day before noon
qd	Every day
qh	Every hour
qhs	Every night at bedtime
qid	Four times a day
qod	Every other day
qpm	Every day after noon
qwk	Every week
tid	Three times a day

4. いったん、薬剤、投与量、頻度をそれぞれの欄に入力したら、現在の薬物投与および辞書への情報追加の為、”OKボタンをクリックします。

追加投薬

薬剤                      投薬量                      頻度

図15 医師情報、治療の追加

## すでに記録されている入力欄への配置および選択

1. キー入力で始めるか、またはマウスで下向き矢印を選択します。より多い文字が必要で入力しているとき、適合する記入リストが表示されます。
2. 記録入力を選択する為に、キーボードの下向き矢印を使用して、使用する入力欄を強調にし、キーボードの”Enter”を押してください。  
又は入力欄をマウスで強調にします。そして入力欄をダブルクリックします。
3. 各欄が正確な情報で満たされたら、”OK”を押します。

患者名	誕生日
Sample 3 - Study comparison	7/31/1943
患者ID	性
U003-00-0000	Male
住所	人種
12 Maybrook Drive Upton, NY 12308 USA 11111	Caucasian
身長	
6' 0"	体重
185	
電話	
(938) 555-7119	

確定

ABPP v3 患者情報 | 医師情報 | 統計 | 時間枠 | 統計 | 時間平均 | 要約

図16. 患者情報の編集

AccuWin Pro v3 は、患者の進展の追跡や診断をまとめる為に必要となる解析を、数多くの簡単にする為の表、統計、グラフでABP測定を表現します。:

- 統計
- 時間枠統計
- 時間平均
- 要約

## 統計の見方

表示されたABP測定の結果解析を見るためには、画面下の“統計”タブをクリックします。:

- **全時間:** 全ての結合された期間のデータ
- **覚醒時間帯:** 患者が起きているときに収集されたデータ
- **睡眠時間帯:** 患者が眠っているときに収集されたデータ
- **白衣効果時間帯:**

もし“要約”タブの“白衣分析可能”が可能としてチェックされていれば、この表が出現し、最初の一時間に収集されたデータが表示されます。

**注:** これらの表の全てのデータは、白衣解析値を除いて外部出力に含まれます。

- **血圧負荷:** 血圧負荷は、高血圧を示すスレシホールドに関係するABP測定値の分布を特徴付けます。このスレシホールド以上の読み値のパーセントが血圧負荷です。ABP測定の抗高血圧治療効果を評価する処方で、目標とされる内臓を含む高血圧心臓病のいくつかのインデックスと関係することが示されます。
- **睡眠時Dip:** 血圧の夜間の低下は、覚醒時値の平均のパーセントとして表現されます。

The screenshot shows the 'AccuWin Pro v3 - Tools for ABP Monitoring' interface. It features a top toolbar with icons for Home, Reports, Settings, and Help. Below the toolbar are four main data panels, each with a table of statistics and a summary of blood pressure load and sleep dip.

Mean	標準偏差	最大(時間)	最小(時間)
収縮期 (mmHg)	126 ± 10.3	180 (14:30)	110 (02:19)
拡張期 (mmHg)	76 ± 8.0	94 (14:30)	62 (02:19)
心拍数 (bpm)	71 ± 5.3	87 (14:30)	59 (02:21)
平均血圧 (mmHg)	83 ± 6.2	116 (14:30)	78 (02:19)
脈圧 (mmHg)	52 ± 6.8	87 (15:15)	39 (08:18)

血圧負荷: 収縮期血圧で 15% の覚醒中 140 mmHg以上、睡眠中 120 mmHg以上  
拡張期血圧で 3% の覚醒中 90 mmHg以上、睡眠中 80 mmHg以上  
睡眠時Dip: 睡眠時収縮期血圧 10.1% と 拡張期血圧 18.7% 前後

Mean	標準偏差	最大(時間)	最小(時間)
収縮期 (mmHg)	130 ± 9.7	180 (14:30)	115 (08:33)
拡張期 (mmHg)	78 ± 7.0	94 (14:30)	64 (08:33)
心拍数 (bpm)	72 ± 4.8	87 (14:30)	62 (12:15)
平均血圧 (mmHg)	85 ± 7.2	116 (14:30)	81 (08:33)
脈圧 (mmHg)	52 ± 7.3	87 (14:15)	38 (08:18)

血圧負荷: SYS読み値 14% = 140 mmHg  
DAS読み値 4% = 90 mmHg

Mean	標準偏差	最大(時間)	最小(時間)
収縮期 (mmHg)	154 ± 5.1	180 (14:30)	149 (14:56)
拡張期 (mmHg)	90 ± 3.4	94 (14:30)	86 (15:15)
心拍数 (bpm)	80 ± 6.7	87 (14:30)	72 (14:56)
平均血圧 (mmHg)	112 ± 3.7	116 (14:30)	108 (15:15)
脈圧 (mmHg)	64 ± 4.0	87 (15:15)	59 (14:56)

血圧負荷: SYS読み値 100% = 140 mmHg  
DAS読み値 50% = 90 mmHg

Mean	標準偏差	最大(時間)	最小(時間)
収縮期 (mmHg)	117 ± 5.0	126 (22:00)	110 (02:19)
拡張期 (mmHg)	66 ± 2.9	72 (02:21)	62 (02:19)
心拍数 (bpm)	66 ± 3.4	72 (08:30)	60 (02:21)
平均血圧 (mmHg)	83 ± 3.2	88 (08:23)	78 (02:19)
脈圧 (mmHg)	51 ± 4.1	59 (22:20)	46 (01:17)

血圧負荷: SYS読み値 20% = 120 mmHg  
DAS読み値 0% = 90 mmHg

## 時間枠統計の見方

ユーザー設定の時間枠期間中の統計解析を見る為には、”時間枠統計”タブをクリックします(図18)。

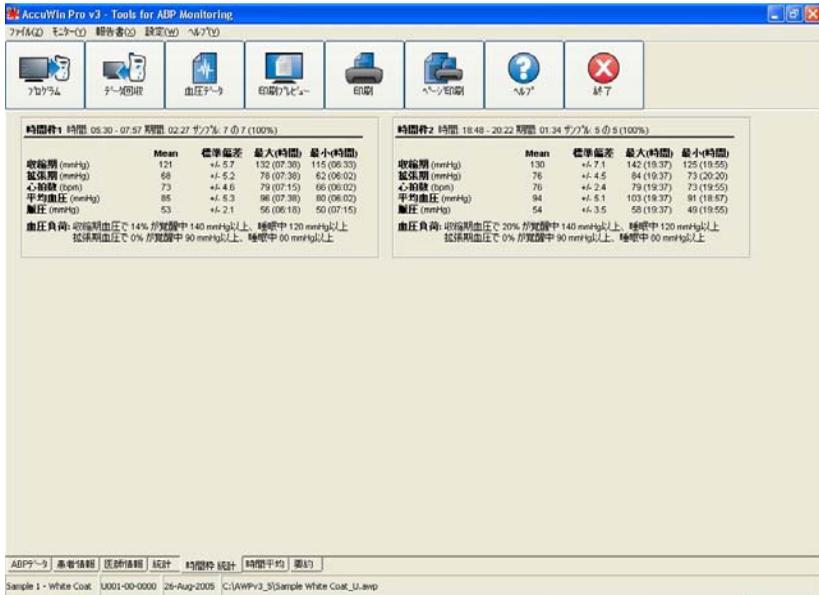
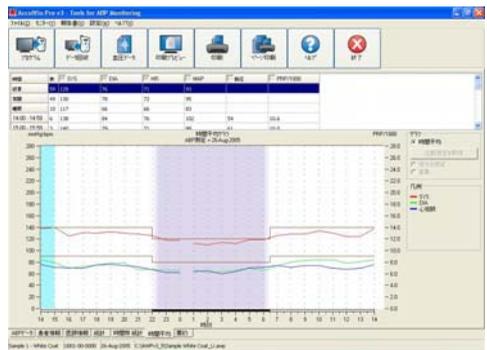


図18. 時間枠統計

## 時間平均の見方

患者ABP測定のトレンドを表示する為には、画面下の”時間平均”タブをクリックします(図19)。表は、患者テストの各時間の血圧読み値の平均を示します。収縮期(Sys)、拡張期(Dia)および脈拍(HR)値に加え、以下の統計的平均値が与えられます。

- **平均血圧(MAP)**—これは一回の心拍期間の平均圧です。上腕動脈において、収縮期と拡張期の読み値の差の1/3を拡張期読み値に加えることにより計算されます。
- **脈圧(PP)**—これは収縮期読み値から拡張期読み値を引くことにより計算されます。心血管リスクを示すものとして使用される、もう一つの血行力学的パラメータです。



- **二重積(心拍数×収縮期血圧)(PRP)**—これは、平均収縮期読み値に平均心拍数を掛け算した計算値です。PRPは患者活動レベルに強く関係し、また心血管リスクのキーとなる指標となりえます。研究および臨床応用における典型的な報告書として、PRPデータは1000で割り算されます。ページの下グラフに表示させたい項目を選択する為には、各欄の始めのチェックボックスを使用します。またマウスポインタにより、表のサイズ変更およびグラフの拡大が可能です。

## 診断用報告書要約の見方

表示されているABP測定の診断用要約を見る為には、画面下の”要約”タブをクリックします。この画面は、24時間で収集されたABPMデータの診断解釈を表示します。この報告書は、覚醒時および睡眠時の収縮期/拡張期血圧値、夜間血圧下降例およびオプションの白衣解析を示します。

24時間に亘る診断要約を使用します。なぜなら、伝統的血圧ガイドラインは、24時間ABPM測定に対応していません。AccuWin Pro v3は、アンブレラトリー血圧モニタリング・レベルの評価に関し、下記の推奨方法を取り込んでいます。

- ” Joint National Committee Seventh Report (JNC 7)<sup>1)</sup>”及び ” American Heart Association (AHA)<sup>2)</sup>”
- “European Society for



図20 診断報告書要約

- 1 JNC 7: National High Blood Pressure Education Program. “The Seventh Report of the Joint National Committee on Prevention, Detection, Evaluation, and Treatment of High Blood Pressure”. *NIH Publication No. 03-5233* May 2003.
- 2 AHA: Pickering, TG, et al. (2005). “AHA Scientific Statement: Recommendations for blood pressure measurement in humans and experimental animals”. *Hypertension*, 45, 142–161.
- 3 ESH: O’Brien, et al. (2003). “European Society of Hypertension recommendations for conventional, ambulatory, and home blood pressure measurement”. *Journal of Hypertension*, 21, 821–848.
- 4 Night-time dip analysis: Claves, H., et al. (2005). “The reproducibility of dipping status: beyond the cutoff points”. *Blood Pressure Monitoring*, 10, 201–205.
- 5 White Coat syndrome analysis: Owens, P, et al. (1999). “Diagnosis of White Coat Hypertension by Ambulatory Blood Pressure Monitoring”. *Hypertension*, 34, 267–272.

AccuWin Pro v3は、夜間血圧下降パーセント<sup>4</sup>を計算します。AccuWin Pro v3は、下降パーセントに基づき、患者が下記の一つであるかを決めます。

- **夜間血圧下降(正常):** 患者の睡眠時の収縮期または拡張期血圧値は、覚醒時の値と比較して10%或いはそれ以上の低下を示します。
- **非夜間血圧(異常):** 患者の血圧は、低下しないかまたは10%以内の低下を示す。すなわちその血圧は、睡眠時に覚醒時の値と比較して低下しない。

白衣現象を考慮に入れるか、入れないかを選択します<sup>5</sup>。白衣症候群は、患者が治療設定に入る時に、その血圧を異常に上昇させます。

白衣分析オプションを有効とするために、下記を行います。

- 統計解析に白衣効果時間帯を加えます。
- 測定の最初の1時間を表示します。或いはグラフ上に薄青い背景を表示します。
- 白衣症候群が存在する時は、診断要約上に評価および報告をします。

## 二つの測定を比較する

ABP有効性をさらに拡張する為に、複数のABP測定を収集することで、患者の血圧の経過を測定することができます。AccuWin Pro v3は、二つの測定の時間平均および統計の比較を可能にします。

同じ患者の二つの測定を比較する為には：

1. 画面下の”時間平均”タブをクリックします。
2. 画面右の“比較測定を取得”ボタンをクリックします。(もしボタンが灰色ならば、見ようとする患者ファイルは、一つの測定しか含まれていないことを示します。
3. “データ選択”が出現します。比較する為に参照する測定を強調して、OKをクリックすることにより、選択します。

前の測定で作成された統計は、現在の時間平均画面に組み込まれます。表は新しい二つの各時間平均ラインを含むように拡張されます。一つは参照測定と同一時間帯の時間平均を示します。そして一方のラインは、表示されたものと参照した測定との差異を示します。

画面下のグラフ上には、両方の測定データが表示されます(図21)。点線ラインは、参照測定からのデータを表現します。そして線ラインは、表示測定からのデータを表現します。”差異”を選択すると、グラフは二つの測定間の差異を一つのラインで表示します。

時間平均とABPデータ画面の為の同じナビゲーションツールが、比較画面に適用できます。グラフ上の時間(点線)の上をクリックすることにより、表を特定の時間に動かすことができます。さらにマウスを使用して、表のサイズ変更およびグラフの拡大/縮小を行うことができます。(サイズ変更および拡大/縮小の方法については「アンビラトリー血圧測定の見方」を参照して下さい。)

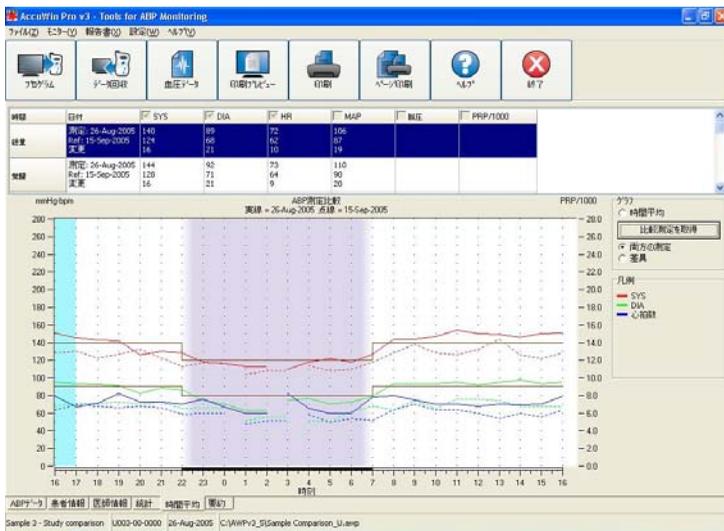


図21. 時間平均、測定比較

## 報告書の作成

### 報告書の設定とカスタマイズ

測定と所見を文書化する為に、カスタマイズした報告書を作成することができます。ユーザーが測定の中で編集し、評価した全てのものを、報告書に含めることが可能で、また簡単な単一ページの要約報告書を構成することもできます。

AccuWin Pro v3は、下記の事前設定の報告書フォーマットを使用できます。



図22. 報告書フォーマット設定

- **1ページ報告書:** 要約ページのみ含みます。
- **標準報告書:** 要約、患者情報、統計、編集データ、省略データおよびモニタ設定ページを含みます。
- **全報告書:** 全ての報告書ページを含みます。

**注:** 報告書の全てのページには、SunTechロゴ、患者名、患者IDおよびテスト日が含まれます。

### 報告書の設定またはカスタマイズ:

1. メニューの“報告書(X)”から、“設定(W)”を選択します。設定画面に報告書タブが表示されます。
2. “フォーマット”タブにおいて、下記の一つを選択します。
  - 左枠内に表示された事前設定されたフォーマットの一つを選択します。フォーマットを選択した時、フォーマットを含んだページは、“報告書ページ”内のボックスで選択されます。
  - 左枠から作成されたカスタムフォーマット設定を選択します。
  - “新報告書”をクリックすることにより新しい報告書フォーマットを作成します。報告書フォーマットの名前を入力します。右の“報告書ページ”のリストからページを選択します。
3. 報告書に追加ページを含める為には、“報告書ページ”のボックスからページをクリックします。詳細は「報告書ページの選択」を参照してください。
4. “報告書タイトル”の中に、報告書全ページの上部ヘッダーとして印刷する文字列を入力します。例えば、医師の名前および問診情報を入力します。
5. 報告書ヘッダーの右端揃えでロゴを加えることもできます。ロゴは、報告書ロゴ.BMPであっても良いし、またAccuWin Pro v3の実行ファイルと同じフォルダに置くこともできます。推奨する画像サイズは、180×56ピクセルとなります。大きな画像は、悪い影響を与え可能性があります。

## 報告書詳細の設定:

1. “詳細”をクリックします。
  - “**グラフタイプ**”：(印刷用報告書の為に)”ライン”、”バー”または”表示と同等”(現在表示のグラフ)を選択します。
  - “**グラフスケール**”：要約報告書のABPグラフ用に12,24または48時間軸を選択します。
  - “**要約ページ使用者欄**”：ページは選択可能な二つの追加のセクションを含んでいます。その二つのセクションを含む以下のオプションの一つを選択します。:



図23. 詳細報告書設定

- “**投薬/医師の診断**”：  
要約ページは、患者薬物治療および医師の診断の為のセクションを含みます。
  - “**患者履歴/医師の診断**”：  
要約ページは、患者の履歴および医師の診断の為のセクションを含みます。
  - “**検査理由/医師の診断**”：  
要約ページは、テスト理由および医師の診断の為のセクションを含みます。
  - “**投薬/患者履歴**”：  
要約ページは、患者薬物治療および患者履歴を含みます。
  - “**投薬/検査理由**”：  
要約ページは、患者薬物治療およびテスト理由を含みます。
  - “**患者履歴/検査理由**”：  
要約ページは、患者履歴およびテスト理由を含みます。
- “**水平線毎**”：編集データのページと省略データのページのデータ表の区切り線の頻度を何行毎と選択します。

2. 変更を有効にする為に”OK”をクリックします。

## 報告書フォーマットタブ

報告書のカスタマイズの為に、下記のページを選択できます。全てのページには、患者名、IDおよびテストデータの識別するヘッダーを含めることができます。病院の住所、或いは表示したいあらゆる情報を持つヘッダーをカスタマイズすることができます。これは報告書のタイトルとして表示します。各ページのフッターは、使用されたモニタの種類およびページ番号を識別します。

下記の方法で、報告書が印刷されます：

- **要約：** 診断要約は、データグラフおよび統計要約の上に出現します。全体の、覚醒時、睡眠時および白衣時(選択されていた場合)の統計要約は、平均収縮期と拡張期測定、平均脈拍数、血圧負荷および夜間血行下降を含みます。患者病歴と医師所見のような、報告書設定の”詳細”タブで選択された二つのセクションもまた、含まれます。医師名、サインの下線および日付の下線が要約ページの下部に印字されます。
- **患者情報：** 患者名、ID、住所、および生理的記述。また要約ページで選択されなかったユーザーが指定できる二つのフィールドを表示します。これらは、患者病歴、テストの理由、現在の薬物治療、および医師の診断を含んでいます。
- **統計：** 詳細な統計、血圧負荷、平均値、標準偏差、最低値(括弧書きの発生時間を伴う)、最高値(括弧書きの発生時間を伴う)、各時間帯の脈圧、および全体の測定を表示します。異なる時間帯による表の表示データ：全体、覚醒時および睡眠時。全体の章は、血圧低下比率を含みます。もし白衣分析オプションが、要約タブ上で有効と設定されているならば、白衣効果期間(収集した最初の時間)が表示されます。
- **時間枠統計：** 詳細な統計、血圧負荷を含む、平均値、標準偏差、最小値(カッコ内の発生時間を伴う)、最大値(カッコ内の発生時間を伴う)、およびユーザーが決めた各時間枠内の脈圧を表示します。
- **編集データ：** グラフおよび表のフォーマットの統計の計算に使用される全ての血圧読み値を示します。読み値の時刻、血圧読み値、脈拍、平均動脈血圧(MAP)、コードおよびコメントを表示します。表の＃と時間欄の間の垂直の黒色線は、睡眠時間を示します。血圧読み値の隣の“>”記号は、スレシホールドを超えていることを示します。
- **省略データ：** 統計を計算する為に使用されていない血圧読み値を示します。もし印刷する場合は、このページは、編集データページに添えられます。

- **時間平均:** グラフおよび表の分析の為の時間平均データを表示します。血圧読み値、脈拍数、およびMAPに加えて、脈圧 (PP) および二重積(心拍数×収縮期血圧)(PRP/1000)が含まれます。時間平均タブ上に表示されるように印刷されます。
- **測定比較:** グラフ及び表の測定比較データを表示します。時間平均タブ上の表示のように印刷されます。
- **ヒストグラム:** 全ての変数の為の頻度のヒストグラムを含みます。
- **機器設定:** 測定の為のABPモニタにより使用される測定パラメータを示します。そのページは、睡眠時間および適用コードの定義についての情報を示します。このページはまた選択された最大圧力値を表示します。

## 報告書－詳細タブ

印刷の報告書用として下記のパラメータをコントロールできます。

- **グラフタイプ:** 印刷されるタイプが、ラインか棒或いは現在表示されているグラフタイプか、コントロールします。
- **グラフスケール:** 印刷したときのABPデータのグラフの時間スケールをコントロールします。このグラフは、ABP要約ページ、編集データページまたは省略データページが印刷されるときに、印刷されます。
- **水平ライン:** データ区切り線がどの頻度で使用されるかをセッします。

## 報告書のプレビュー

1. メニューの”報告書(X)”から設定後の報告書の個々のページを見る為に、”プレビュー(X)”を選択します。或いは”印刷プレビュー”ツールバーボタンをクリックします。
2. 個々のページを見る為には、ウィンドウ左側の番号アイコンをクリックします。
3. フォーマット及び詳細を変更する為には、”設定”をクリックします。
4. 報告書を印刷する為には、”報告書印刷”をクリックします。現在表示しているページを印刷する為には、”ページ印刷”をクリックします。

## 報告書の印刷

AccWin Pro v3は、報告書の印刷に対し柔軟性を持たせています。下記のいずれかを選択できます：

- ツールバー上の印刷ボタンをクリックするか、或いは”報告書(X)”メニューに入り、”印刷(Y)”を選択することにより設定した報告書を印刷します。
- ”ページ印刷(Z)”をクリックすることにより表示されている現在のタブに相当する報告書ページを印刷します。次表は、各タブの表示により作成された報告書ページを示します。

表示タブ	印刷される報告書ページ
ABPデータ	グラフの編集および省略済データ
患者情報	患者情報
医師情報	要約ページ
統計	統計表
時間枠統計	統計表
時間平均	時間平均及び測定比較
要約	要約ページ

**注：** プリンターをインストールしている必要があります。もしプリンターをインストールしていないならば、ファイルを印刷する為のドライバーのインストール方法についてオンラインヘルプを見てください。

## 患者ファイルの管理

下記の機能を使用して患者ファイルを管理します。

### 開く(T)

この機能は、患者のデータファイルを取り込みます。

1. ツールバーから、“血压データ”ボタンを選択するか、或いは“ファイル(Z)”メニューから“開く(T)”を選択します。“ABP測定を開く-患者選択”ダイアログボックスが出現し、患者ファイルを開くことができますようになります。
2. 取り込みたい患者のデータファイルを、患者名をクリックすることで選択します。“OK”を選択します。
3. もし患者が二つ以上のABP測定を持っている場合は、二番目の“データ選択”ダイアログボックスが表示されます。
4. 患者データが表示エリアに出現します。ここでユーザーは、血压データの編集または報告書の印刷が可能となります。

**注：** 患者ファイルがネットワークの共有に保存された場合、一度に一人のユーザーだけが患者ファイルへのアクセスが許されません。

### コピー(V)

血压データファイルを他のディスクまたはディレクトリへコピーします。

1. ファイルメニューから、“コピー(V)”を選択します。
2. “コピー-ファイルの選択”ダイアログボックスが出現します。コピーしたいファイルを選択します。“OK”を選択します。
3. “コピー先:”ダイアログボックスが現れます。コピー先ドライブおよびディレクトリを選択します。ファイルをコピーする為に“OK”をクリックします。

## 出力(W)

血圧データのASC IIまたはGDTフォーマットでの外部出力

1. "ファイル(Z)"メニューから"出力(W)"を選択します。
2. "表示ファイル(Y)"または"データベースから(Z)"を選択します。
3. "表示ファイル(Y)"を選択すると、"出力"ダイアログボックスが出現します。"出力"をクリックすると、"出力先"ダイアログボックスが開き、出力先を選択し、"OK"をクリックします。
4. もし表示ファイル以外のファイルを出力したい場合には、"編集"をクリックします。"出力-ファイルの選択"ダイアログボックスが出現し、データベースから出力したいファイルを選択することができます。
5. 出力ファイルの詳細を設定する為には、"設定"を選択します。(出力設定に関する使用方法は、"AccuWin Pro v3のカスタマイズおよび"設定"の"出力"を参照してください)。
6. "データベースから(Z)"を選択すると、"出力-ファイルの選択"ダイアログボックスが出現し、データベースから出力したいファイルを選択することができます。

外部出力されるファイルは、AccuWin Pro v3のファイル名の後に、選択されたフォーマットに従い"\*.ASC"または "\*.GDT"のどちらかのファイル名が付けられます。

## メール(X)

添付物としてのAccuWin Pro v3データファイルのメール

1. "ファイル(Z)"メニューから、"メール(X)"を選択します。
2. "表示ファイル(Y)"又は"データベースから(Z)"のファイルかのどちらかを選択します。もし"表示ファイル(Y)"を選択した場合は、画面上に現在表示されているデータがe-mailされます。もし"データベースから(Z)"が選択された場合は、"メールファイルの選択"ダイアログボックスが開き、e-mailするファイルの選択画面が表示されます。e-mailしたいファイルをチェックし、"OK"をクリックします。".enc"は、ファイルが暗号化されていることを示します。
3. "メール"ダイアログボックスが現れます。受信e-mailアドレス、タイトルおよびメッセージを入力します。受信者がAccuWin Pro v3ファイルを見る為には、"awp.enc"ファイル拡張子を持たなければなりません。
4. "メール"ファイルを送信するため、"送信"をクリックします。e-mailしたいファイルを変更する為には"添付"を選択します。e-mailの詳細を設定する為には、"設定"を選択してください。(e-mail設定の方法として、"AccuWin Pro v3のカスタマイズおよび設定"のEmailを参照してください)。

## 削除(Y)

この特徴は、一つか、それ以上の患者データファイルを削除することができます。各患者ファイルは、患者血圧データの全てを含んでいます。それゆえ全ての患者血圧データを、削除することができます。

1. "ファイル(Z)"メニューから、"削除(Y)"を選択します。
2. "削除ファイルの選択"ダイアログボックスが現れます。どの血圧データファイルを削除するか選択します。患者名のチェックボックスをクリックすることにより、項目を選択又は非選択します。削除する全てのファイルを選択した後、"OK"をクリックします。
3. これらの"ファイルの削除"確認のダイアログボックスが表示されます。"はい"を選択します。

## 患者データファイルの変換

もしユーザーが前のバージョンのAccuWin Pro 3の患者ファイルを持っていて、それらを開いたりコピーしようとする、それらを患者情報が拡張された安全性をもつ新しい暗号化されたファイルに変換するよう要求メッセージが現れます。

### 患者データファイルの変換手順

1. 前のバージョンのAccuWin Pro v3で保存された患者ファイルを、開いたりコピーを始めます。一つかそれ以上の患者ファイルがHIPP適合フォーマットになっていない為、これらを今変換する要求の内容のメッセージが現れます。
2. 以下の一つを行います。
  - 現時点で全ての患者ファイルを変換する為に、最初にこれらのファイルをバックアップすることを推奨します。その後、"Yes"をクリックします。
  - 全ての患者ファイルを現時点で、変換しない為には、"No"をクリックします。もしそれらを変換しないことを選択するなら、暗号化ファイルとして変換されているファイルを示すファイルリスト内に、アスタリスク(\*)が患者ファイル名の次に現れます。AccuWin Pro v3を起動し、前のフォーマットの患者ファイルを開くときはいつでも、変換のメッセージが現れます。

## AccuWin Pro v3 のカスタマイズおよび設定

一つの場所で、複数の設定プロファイルを持つことはユーザーの為に役立つことがあります。例えば、臨床中の各医師の為のもの、または各サービス窓口の顧客の為のもの；

AccuWin Pro v3の設定プロファイルを作成または編集可能です。

1. “設定 (W)”メニューから、“選択 (X)”を選択します。新しいプロファイルを作成するか、或いは既に在るプロファイルを編集します。
2. 編集したいプロファイルの名前を選択し、“編集”をクリックします。
3. 追加のプロファイルを作成する為には”新規”をクリックし、プロファイルを識別する名前を入力し、Enterキーを押し、そして”編集”をクリックします。
4. 設定を選択する為には”OK”をクリックします。

もし設定を編集する場合は、ウィンドウ画面上部のタブに示されている機能の表示画面を開きます。これらについて次に詳細を説明します。

**注：** 各タブについて、“初期値”ボタンをクリックすることで、その設定は出荷時設定に戻ります。



図25. 設定リスト

## “ハードウェア設定”

このウィンドウ(図26)により、ユーザーのPCとABPモニタの通信を設定することができます。また、それが正常動作するか、その設定についてテストすることが可能です。手順については、「コミュニケーションの為のPC設定」を参照してください。

1. ”ABP機器”で、接続機器を選択します。
2. ”シリアルポート”で、機器を装着するCOMポートを選択します。
3. ”ポートのテスト”をクリックします。(図25 設定リスト)ビープ音が一回鳴り、ポートが正しく設定されているか評価メッセージが表示されます。
4. もしエラーメッセージの“ABP機器との通信不能”が表示されたら、以下の一つを試して下さい。
  - ・ 適切なポート或いは機器を選択していない。
  - ・ 機器が正しく接続されていない。
  - ・ モニタの電池が装着されていないか、電力が少ない。
  - ・ USBアダプタが正しく接続されていない。



図26. ハードウェア設定

## “データ”設定

このウィンドウ(図27)は、下記の特徴を含んでいます。

- 初期設定パス:

これは、AccuWin Pro v3をインストールしたとき、ユーザーのハードウェアドライブにフォルダを作成します。もしこのフォルダ以外に報告書を保存しようとする時、ツリーの他のフォルダを選択することができ、

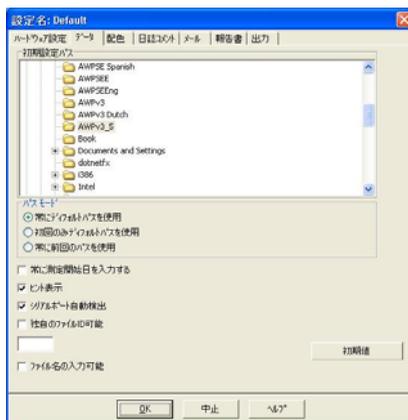


図27. データ 設定

自動的に初期設定となります。複数の設定を作成するには、AccuWin Pro v3をこのフォルダから常にアクセスできるように選択することができ、或いは最初の検索に関してのみ初期設定のフォルダにアクセスするか、最後に使用したフォルダにアクセスします。表示された三つの選択の一つを選び、これを変更してください。

- 常に測定開始日を入力する:

ABPモニタ機器の収集データを引き出す時、試験日を常に入力する為には、これをチェックしてください。

- ヒント表示:

使用したいアイコンおよびグラフ機能についての情報を見る為には、これをチェックしてください。

- シリアルポート自動検出:

シリアルポート接続のシステムテストの為には、これをチェックしてください。

- 独自のファイルID可能:

ABP割り当てファイル名に固有なファイル接頭語を加える際、これをチェックしてください。

- ファイル名の入力可能:

ABPファイルを保存するとき、ファイル名の為のシステムプロンプトを有効にする場合、これをチェックしてください。

**注:** もし両方のオプションが選択されている場合は、接頭語がユーザー入力のファイル名に追加されます(例、xxxx - <ユーザー定義入力>)。

ウィンドウ内の全ての設定を出荷時設定に戻す為には、“初期値”をクリックしてください。

## “配色”設定

この項目は、ユーザーが作成した各設定プロファイルから作られるグラフおよび図表の配色のカスタマイズを可能とします(図28)。多量データの表現で、各プロファイルの色パレットを変えることは、印刷する報告書およびスクリーン上のデータを正しく医師または患者に容易に理解させることを可能にします。カスタマイズ可能なパレットは、ユーザープリンターによる最適な再生の為に、配色の微調整をすることができます。ABPグラフの陰影部は、測定期間を示します。初期設定色(設定>配色タブを使用し、変更可能)は、以下のようになります:

- ・ **白衣効果時間帯:** 薄い青色の陰影で表示され、白衣期間を示します。それは測定の最初の時間帯となります。
- ・ **睡眠時間帯:** 薄いグレーの陰影で示され、測定の睡眠期間を表わします。

設定プロファイルのカラーパターンをカスタマイズする手順は下記となります。

1. ユーザーが変更したい属性のタブをクリックします。ここで示された例では、“ABPグラフ・カラー”タブが選択されています、しかしこの機能は各タブに対して別々に働きます。
2. 色を変える為に、変えたい色見本をクリックすると、“色の設定”ウィンドウが現れ、48基本色が表示されます。それらの一つを選択するか、或いは“色の作成”ボタンをクリックし自分自身のカスタム色を作成します。
3. この方法を、変更したい色について繰り返します。

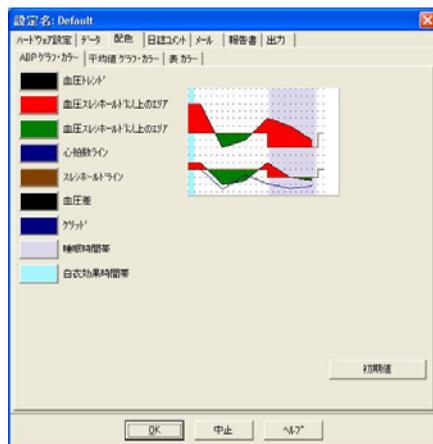


図28. 配色の設定

## “日誌コメント”設定

ユーザーは、血圧測定中の患者活動を表す患者日誌からの入力を支援する機能を使用できます。このウィンドウ(図29)の初期リストの入力は、患者日誌に含まれるリストと一致します。新しい入力項目の追加、或いはいくつかの入力項目初期値の削除により、そのリストをカスタマイズすることができます。

ユーザーの最終リストへの入力項目は、“ABPデータ”タブにある表のコメント欄に現れるリストに取り込まれます。ユーザーがファイル作成を進める時、テキストをタイプする代わりにマウスによりメニューから入力項目を選択し記入することができます。(「患者日誌のコメント挿入」を参照)

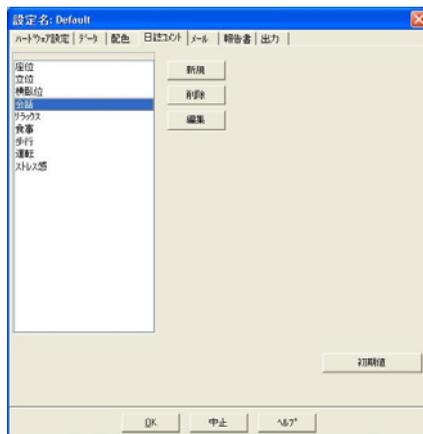


図29 日誌コメント設定

## “メール”設定

メール機能は、新しいe-mailメッセージを作成し、また選択された患者データファイルを添付し、そしてそのe-mailを宛先へ送ります。

e-mailのパラメータをセットアップする方法(図30)：

1. “LAN”または“Dial up”ダイヤルアップから、ユーザーの使用している接続のタイプを選択します。
2. e-mailのサーバーの設定を満たします。この情報は、ユーザーのインターネット・サーバプロバイダー(ISP)またはオフィス・ネットワーク管理者から利用できます。ユーザーのISPは、e-mailを送る為の認証ボックスをチェックするよう要求します。
3. ユーザーが入力するe-mail設定は、ユーザーのe-mailのヘッダーに出現します：受信者の名前ユーザーの戻り用のe-mailアドレス、e-mailの題目、および選択したメッセージ。



図30. e-mail設定

暗号化オプションは、ユーザー選択によるキーでe-mailを暗号化することができます。e-mail受信者にもそれを利用できるようにする必要があります。患者ファイルは、常に暗号化されます。もしキーがファイルに含まれていれば、AccuWin Pro v3のコピーでファイルを開くことができます。安全性を高める為、ファイルに含まれているキーのチェックボックスをチェックせずに、暗号化キーをタイプしてください。

e-mailファイルの受信者は、添付ファイルを開く為にキーを持っていないければなりません。

タブ上の太字のすべての項目への入力が必要となります。

## “報告書” 設定

この機能は、ユーザーの報告書をフォーマットし、それらに含まれている情報を選択することができます。

報告書をフォーマットする方法:

1. “設定(W)”から、“選択(X)”を選択します。編集したいプロファイルを選択し、“編集”をクリックします。
2. “報告書”タブをクリックし、“フォーマット”タブを選択します。
3. 1ページ報告書、全報告書、および標準報告書の中にどの項目を含めるか選択します。
4. 新しい報告書を作成する為に、“新報告書”をクリックし、選んだ名前を入力し、そして報告書に表わしたい項目を選択します。
5. 報告書のどれかを削除するためには、その報告書を選択し、“報告書削除”をクリックします。
6. ボックス内の選んだタイトルをタイプすることにより“報告書タイトル”を入力します。
7. 他の機能として、“初期値”をクリックすることにより出荷設定に戻ります。
8. グラフのタイプ、グラフのスケールおよび報告書要約を変更する為には、“詳細”をクリックします。また読みやすくする為の報告書内の水平ラインの数の変更、或いはそれらを使用しないことを選択できます。



図31. 報告書フォーマットの設定

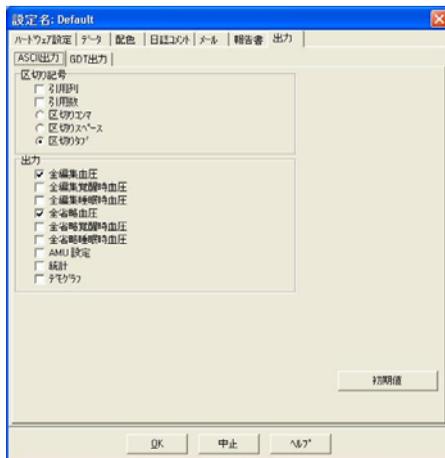


図32. 報告書詳細の設定

## “出力” 設定

この機能は、別のフォーマット(図33)で報告書の外部出力を可能とします。これは、データをデータベースと合併するときには有効となります。“ASCII出力”または“GDT出力”のどちらでも報告書を外部出力できます。GDTは、医療記録用コンピュータと共通にするときに使用されるフォーマットです。

1. ASCII出力への外部出力設定のために、これらの場所にあるオプションを選択します。
  - ・ **区切り記号**: データベースのフィールド項目をどの文字列で分割するかを選択します。
  - ・ **出力**: どの情報を出力するかを正確に選択します。
2. GDT出力のための機能を設定するために、以下を行います。
  - ・ “GDT出力”タブを選択します。
  - ・ “GDT 要約”チェックボックスをクリックします。

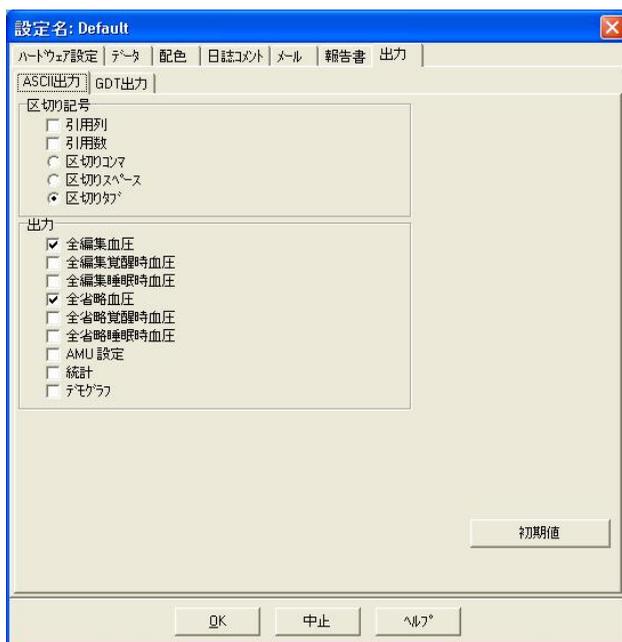


図33. 出力設定

## AccuWin Pro v3 報告書シンボルの概要

### 報告書シンボル

下記のシンボルが、編集および省略した血圧データ報告書ページに使用されています。

シンボル	説明
“t”	“診療所テストモード”で測定されたことを示します。
“+”	モニタの”スタート/ストップ”ボタンを押すことにより測定が開始されたことを示します。
“-”	動的加圧モードによるカフ加圧の圧力が、正確な収縮期圧読み値を得る為には低すぎたことを示します。-“の付いた読み値は、AccuWin Pro v3報告書から自動的に省略されたものです。”タグ”欄にマークされた-“の付いた血圧読み値を、その上と下の血圧読み値と比較します。もし省略された読み値が妥当であれば、“タグ”欄マークを外します。;もし読み値に妥当性がないと思われるならば、“タグ”はそのままとします。
“r”	この読み値は、再測定されたことを示します。再測定は、ABPモニタにより疑問のある読み値として省略された後の4分間で自動的に得られた読み値です。
“!”	感嘆符は、永久的なタグで、ABPモニタにより正確な読み値ではないと判断されたときに使用されます。
“>”	このシンボルは、もし読み値が、設定されたスレシホールド(閾値)より高い場合に、測定値の左側に表記されます。

## イベントコードの概要

イベントコード(EC)は、血圧データの編集に関しユーザーの評価に広範囲に使用されます。このコードは、“ABPデータ”タブの表、およびECとラベル化された行の“編集”と“省略”血圧データ報告書ページに表示されます。

- ・ イベントコードは、血圧測定がどの状態で行われたかを表記します。また将来発生する事を避ける為にする解決策も同時に付け加わります。

**注：**読み値が無効であることをコードが自動的に表示することはありません。;コードは、ユーザーのデータ編集を補助する為の案内を行うのみです。

## イベントコードの定義

コード	AccuWin Pro v3の記述	解決
1	オシロメトリック信号が弱いか又は無い	カフ位置を点検する;カフをしっかり巻きます。
2	オシロメトリック信号に雑音/変動がある	血圧測定中にじっとしている。
3	再測定数が限度を超えた(4回)	血圧測定中にじっとしている。
4	測定時間が限界を超えた(120秒)	エアーホース接続の点検およびカフがしっかり巻いてあるか点検する。
85	測定の中断(バルブ或いはガス回路の閉塞)	エアーホース接続の点検およびエアーチューブが潰れていないか点検する。
86	測定の中断(ユーザーによる)	スタート/ストップボタンを押し測定をリセットする。
87	測定の中断(加圧のタイムアウト或いはエアーリーク)	エアーホースおよびカフを点検する。
88	測定の中断(安全性によるタイムアウト)	スタート/ストップボタンを押し、再測定を行う。もし問題が持続するならば、本器を修理に出してください。
89	測定の中断(カフの過剰圧)	エアーホースの閉塞又はねじれ。
90	修理が必要(電源不良又は他のハードウェア問題)	バッテリーの交換。もし問題が持続するならば、本器を修理に出してください。
91	修理が必要(安全装置作動又は自動ゼロが範囲外)	スタート/ストップボタンを押し、再測定を行う。もし問題が持続するならば、本器を修理に出してください。
97	修理が必要(トランスジューサ不良)	本器を修理に出してください。
98	修理が必要(A/Dコンバータ不良)	本器を修理に出してください。
99	修理が必要(EEPROMキャリブレーションデータ不良)	本器はキャリブレーションが必要、修理に出してください。

## 管理ツール

AccuWin Pro v3は、追加の安全機能となる管理ツールを含んでいます。AccuWin Pro v3管理ツールにより、ユーザーは、新しいユーザー・アカウントの作成、ユーザー・アクセスレベルの変更、ユーザー・パスワードのリセット、ログイン・プロセスの有効化、およびユーザーの操作なしに特定の時間が経過した後の自動ログオフを行うことができます。管理ツールへのアクセスは、管理レベルのログインを必要とします。

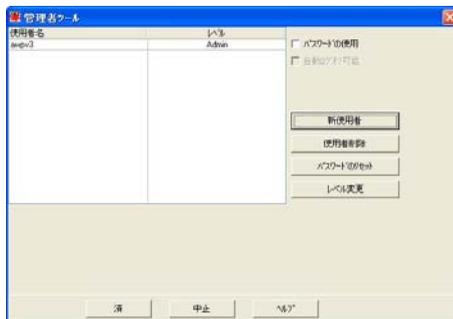


図34. 管理者ツールウィンドウ

### ログインオプションの維持

AccuWin Pro v3は、パスワードのログイン安全性を有効にするか無効にするかのフレキシビリティを含みます。このオプションを有効にすることで、HIPAAアクセス保護要求事項をサポートします。もしユーザーの施設が医療電子記録(EMR)システム又はログイン安全性が既に用意されている他のシステムを使用しているならば、AccuWin Pro v3のパスワードのコントロール機能を有効にしなくてもかまいません。

パスワードのコントロール機能が有効であるとき、ユーザーの操作なしに特定の時間が経過した後にログアウトする自動ログオフ機能を有効にすることができます。

**注:** 全ての管理ツールのオプションは、管理権限を持ったユーザーからのアクセスを必要とします。

### ログインアクセスの方法:

1. "設定(W)"メニューから、"管理ツール(Y)"を選択します。もしユーザーが管理者としてログインしない場合、又はもしパスワードのコントロール機能が有効でないならば、"名前とパスワードの入力"ダイアログウィンドウが出現します。使用者名およびパスワードを入力して"OK"をクリックします。"管理者ツール"ウィンドウ(図34)が出現します。

**注:** もしこれが管理ツールへの最初のアクセスならば、AccuWin Pro v3のインストールCDに記載された初期設定のユーザー名およびパスワード(図35)を使用します。

2. ”パスワードの使用”チェックボックスをクリックします。チェックはオプションが有効であることを示します。
3. ”済”をクリックします。

**注:** ユーザーは、初期設定の管理者を削除する前に、新しい管理者名およびパスワードを作成しなければなりません。

### 自動ログオフの方法:

**注:** パスワードコントロール機能を有効にします。

1. “管理者ツール”ウィンドウから、“自動ログオフ可能”チェックボックスをクリックします。チェックは有効にすることを示します。
2. “自動ログオフ可能”チェックボックスをチェックした後に現れる”自動ログオフ時間”ボックスの中で、ユーザーが自動的にログオフする前の活動していない経過時間数を入力します。又は、数値を入力する為に上方又は下方矢印をクリックします。1分から240分までの数値を設定できます;初期設定は20分です。
3. ”済”をクリックします。

AccuWin Pro v3は、ユーザー・アカウントを管理者のみが維持管理ができるような安全機能になっています。

ユーザー・アカウントには二つのタイプが在ります。管理者は、ログインアクセスを有効にし、また自動ログオフ機能を有効にするような管理機能にアクセス可能です。

管理者は、またパスワードを忘れた各ユーザーのパスワードをリセットすることができます。



図35 初期設定のユーザー名およびパスワードが記載されたAccuWin Pro v3のCD

**注:** 全ての管理ツールオプションは、管理権限を持つユーザーからのアクセスを必要とします。

## ユーザー・アカウントの追加

新しいユーザー・アカウントを短時間で簡単に追加できます。管理者は、管理者レベル又はユーザーレベルのどちらでもユーザーを作成することができます。新しい各使用者は、“使用者名”の初期設定パスワードを割り当てられます。新しい使用者が最初のログインを行うとき、使用者はAccuWin Pro v3で作業を行う前に、初期設定パスワードを変更しなければなりません(図36)。これは、管理者アカウントおよびユーザー・アカウントの両方に適用されます。

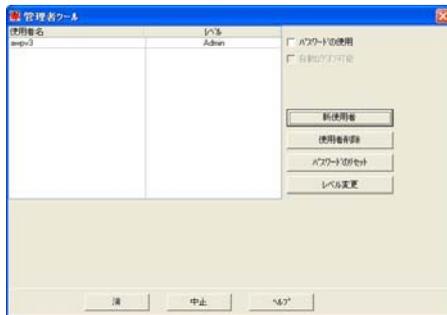


図36. ユーザーの追加

1. “設定(W)”メニューから“管理ツール(Y)”を選択します。
2. もし管理者としてログインできないか、或いはもしパスワードコントロール機能が働かないならば、“名前とパスワード入力”ダイアログウィンドウが現れます。管理者名およびパスワードを入力し、“OK”をクリックします。管理ツールウィンドウが開きます。
3. “新使用者”をクリックします。
4. 現れた“使用者名”フィールドの中で、新しい使用者のログイン名を入力します。新しく加えられたユーザーは、初期設定の“user”が新しいユーザーのパスワードとして自動的に設定されます。
5. “OK”をクリックします。
6. ユーザーレベルを変更する為には、“使用者名”を選択し、“レベル変更”をクリックします。このオプションは、“レベル”欄の使用者レベルを“使用者”と“管理者”のどちらかに切り替えます。
7. “済”をクリックします。

## 使用者レベルの変更

ユーザー・アカウントレベルを管理者権限へ、或いは使用者権限へのどちらにでも変更できます。使用者名を変更することはできません。

1. “設定(W)”メニューから“管理ツール(Y)”を選択します。
2. もし管理者としてログインしていないならば、或いはもしパスワードコントロール機能が有効でないならば、“名前とパスワード入力”ダイアログウィンドウが出現します。管理者名およびパスワードを入力し、“OK”をクリックしてください。
3. 変更したいユーザー・アカウントをクリックしてください。
4. ユーザーレベルを変更する為に、“レベル変更”をクリックしてください。このオプションは、“レベル”欄のユーザーレベルを“使用者”と“管理者”間で切り替えます。
5. “済”をクリックしてください。

## ユーザー・アカウントの削除

管理者アカウントおよびユーザー・アカウントの両方を削除することができます。しかし、もし管理者アカウントが一つだけであれば、それを削除できません。

1. "設定(W)"メニューから"管理ツール(Y)"を選択します。
2. もし管理者としてログインしていないならば、或いはもしパスワードコントロール機能が有効でないならば、"名前とパスワード入力"ダイアログウィンドウが出現します。管理者名およびパスワードを入力し、"OK"をクリックしてください。"管理ツール"ウィンドウが現れます。
3. 変更したいユーザー・アカウントをクリックしてください。
4. "使用者削除"をクリックしてください。
5. 確認メッセージが現れます。ユーザー・アカウントの削除を続ける為に"Yes"をクリックしてください。
6. "済"をクリックしてください。

## ユーザー・パスワードのリセット

使用者がパスワードを忘れたとき、使用者はシステム管理者に連絡してください。システム管理者は、ユーザー・パスワードをリセットし、"使用者"の初期設定パスワードに変更します。使用者は最初のログインを行うとき、AccuWin Pro v3での作業の前に、初期設定パスワードを変更しなければなりません。

1. "設定(W)"メニューから"管理ツール(Y)"を選択します。
2. もし管理者としてログインしていないならば、或いはもしパスワードコントロール機能が有効でないならば、"名前とパスワード入力"ダイアログウィンドウが出現します。管理者名およびパスワードを入力し、"OK"をクリックしてください。"管理ツール"ウィンドウが現れます。
3. 変更したいアカウントをクリックしてください。
4. "リセットパスワード"をクリックしてください。
5. パスワードのリセットを確認する為に"Yes"をクリックしてください。
6. 確認メッセージが現れますので、"OK"をクリックしてください。
7. "済"をクリックしてください。







製造元:

**SunTech Medical, Inc.**

507 Airport Boulevard,  
Suite 117 Morrisville,  
NC 27560-8200 USA(米国)

製造販売:

株式会社エス・エム・アイ・ジャパン

〒111-0054 東京都台東区鳥越1-4-3  
ミハマビル4F

TEL: 03-5829-9079 FAX: 03-5829-9089

